

	一般的名称	報告の概要
438	人血清アルブミン	外傷性脳損傷患者蘇生の大規模二重盲検試験(SAFE Study)の追跡研究において、460例の患者を追跡したところ、アルブミンによる蘇生群の方が生理食塩液による蘇生群よりも死亡率が高かった。
439	ホスフェストロール	マウスにおいて、新生児期のホスフェストロール曝露により、陰茎骨の奇形や陰茎の長さ、直径や重量の低下などを引き起こすことが示唆された。
440	リン酸オセルタミビル	ラット由来の海馬神経細胞を用いたin vitro試験において、オセルタミビルが脳細胞を興奮させる作用があることが示唆された。
441	リバビリン	2007年7月24日までにリバビリンを投与に伴う妊娠症例2229例のうち、先天異常:46例、小児疾患:11例、人工中絶:364例、胎児死亡:158例が認められた。
442	ホリナートカルシウム	転移または再発食道扁平上皮癌患者41例を対象とした週2回投与のパクリタキセル/シスプラチンとフルオロウラシル/ロイコボリンを併用するレジメンを検討するPhase II試験において、侵襲性真菌感染症により1例が死亡した。
443	メトレキサート	生殖細胞癌患者62例を対象としたGA-MEC療法(G-CSF,アクチノマイシンD,メトレキサート、エトポシド、シスプラチン)のPhase II試験のプロスペクティブ解析により、敗血症、絨毛腫に基づく腹腔内出血により5例が死亡した。
444	レボホリナートカルシウム	Stage III大腸癌患者1101例を対象としたフルオロウラシル+レボホリナートカルシウム群とテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム+ホリナートカルシウム群の無作為化比較試験において、31例に二次癌が発生した。
445	エストラジオール	エストロゲン+プロゲステンの周期的併用療法を長期間行くと、子宮内膜癌発症リスクが高まることが示唆された。
446	テガフル・ウラシル	Stage III大腸癌患者1101例を対象としたフルオロウラシル+レボホリナートカルシウム群とテガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム+ホリナートカルシウム群の無作為化比較試験において、31例に二次癌が発生した。
447	ゾレドロン酸水和物	オーストラリア副作用諮問委員会に経口ビスホスホネート製剤のうち、腎機能障害あるいは腎不全の報告が、ゾレドロン酸で多く報告された。
448	ワルファリンカリウム	心房細動入院患者18867例を対象としたレトロスペクティブ研究において、有色人種、特にアジア人は白人に比べてワルファリン投与により、頭蓋内出血のリスクが高まることが示唆された。
449	ニコチン含有一般用医薬品	ニコチンを高用量に摂取したマウスの小核試験では、多染性の赤血球の増加が見られ、遺伝毒性が示唆された。
450	メシル酸サキナビル	HIV感染者12例を対象とした研究において、リトナビルとサキナビルの併用投与では短期間の併用療法よりも長期間の併用投与のほうが、両剤の血中濃度が低下した。
451	ホリナートカルシウム	局所進行食道胃癌患者119例を対象としたPET診断で術前科学療法の方向性を決めるPhase II試験において、卒中発作、突発性心疾患で2例が死亡した。
452	塩酸ヒドララジン	妊娠高血圧ラットに硫酸マグネシウムを妊娠10日-20日に連続投与したところ、胎仔の心臓形成異常が見られた。
453	非ピリン系感冒剤(4)	感冒様症状の68歳女性が非ピリン系感冒剤(4)顆粒とレボフロキサシンを使用したところ、薬物性肺炎(間質性肺炎)が発症した。